



NO.1086

2016.9.18

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二 四四五八
F 四三二 四四五七



むくげ

松浦奮戦メモ



流氷

▼精神科医の香山リカさんが、数年前マスコミが勝ち組、負け組と騒いでいたところ、退院する女性が多かった。退院する女性が多かった。退院する女性が多かった。

どうなっているの？志誠会

TPPに物言えず

松浦議員が要請していた「TPP協定の調印・批准しないこと」を求める意見書（案）の審査が、8日総務経済委員会で行なわれました。

これまで網走市議会は、オーラル網走の立場で何度もTPPに反対の意見書を提出してきました。松浦議員は、「安倍内閣は、関係国による大筋合意をしたが、先の国会において合意の内容が黒塗りになっている。審査が進まない状況で国民の理解は得られていない」と述べて、意見書（案）の採択を求めました。

川原田議員（結政の会）は、「1次産業への影響はもちろんだが、本丸は知的財産にある」と受け止めている」と述べ意見書（案）に賛成。これに対し

工藤議員（志誠会）は「阻止するほどの状況でもない。1度国が決めた以上、堅持していきたい。あえて批准反対とは言いかねる。時間をかけたい」と継続審査を求めました。小田部議員（諸派）は、はじめは不採択を主張しましたが、議員間討論の中で継続

審査に態度を変えました。井戸議員（志誠会・会長）は「国民に十分理解されていないことは宜しくないと思っ

ているが、世界的な流れの様子を見ながら判断しなければならぬ。会派として継続審査の考えで一致している」と述べました。佐々木議員（公明クラブ）は、一言も発言しませんでした。このように、自民系保守の議員が態度を覆したことは、関係者をはじめ市民に対しても裏切り行為と言わざるを得ません。

- 過去の市議会での意見書提出は全会一致
- TPP交渉への参加表明撤回を求める 23年12月
 - TPP交渉参加表明の見直しを求める 24年3月
 - 国益なきTPP合意に断固反対、国会決議の遵守を求める 26年3月
 - TPP大筋合意の撤回を求める 27年12月

一般質問が13日からはじまり、私は13日の午後から①ごみ問題 ②学校給食 ③大曲湖畔園地の3項目について質問をしましたが、質問時間45分ぎりぎりまでかかりました。1人議員は会派でなく諸派扱いなので、何かと辛い思いをすることがあります。一般質問の項目についても分担することができないので、絞らざるをえませんからストレスがたまります。その分は、それ以外のところでも声を届けるように

街・スポットライ

さんご草祭り開催



あともう少しで満開のさんご草

第53回能取湖さんご草祭りが、9月10・11日の2日間、網走市卯原内のさんご草群落地で行われました。さんご草は、隆盛期

しています。さて、9月議会は一般質問が終わっても16日から決算審査特別委員会があり、総務費（戸籍住民基本台帳費・市民活動費を除く）・公債費・諸支出費・予備費・労働費・農林水産費（水産業費・漁港費を除く）・商工費・市有財産整備特別会計・流水館特別会計の決算審査を行います。ただいま準備の真っ最中（13日夜）です。

の9割まで回復し、深紅のじゅうたんを敷きつめたように見事に赤く染まっています。開会初日は、朝方まで降っていた雨もやみ気温も上がり、多くの市民や観光客で盛大に祭りが開催されました。11日は、青空が広がる祭り日和となり、主催者も「お陰さまで天気が良くなりました」と喜んでいました。多くの観光客もさんご草を観て、ホタテ貝、ツブ貝、ズワイガニをはじめ農産物の販売、「でんぷん団子やカボチャ団子」やホットドックなど賑わっていました。

▼東日本大震災から5年半もたつのに、今も仮設暮らしの人が9万人もいて、生業再建や、原発収束も進んでいない。国民を守ることは今の安倍政権の下では望むべくもない。他国へのバラマキ支援や借款、防衛予算も5兆円を超え、年金積立金は、株式運用で5兆円を超える額をスッテしまう。「政治は何のためにあるのか」、怒りが加速する。▼そして気候も悪政に味方するかのごとく、荒れ狂う。治山治水にもつと国の予算を、自己責任などではなく、国の責任での個人補償を全面的に要求したい。このままでは日本の国は滅んでしまうのでは、国民のいない国などありはしないのだから。(k2)